

各位

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

**<園調査> 保育・幼児教育施設における新型コロナウイルス感染症に関わる対応や影響に関する調査
ご協力のご依頼**

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターでは、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）に伴う社会の変化が、保育・幼児教育施設にどのような影響を与えているのかについて、学術的に把握することを目的とした調査を実施しています。

新型コロナに関わる対応に各園でご尽力されていると存じますが、そうした実態について十分に把握されていないという現状があります。そこで、本調査では、現場の声から実態を捉えて発信し、今後の対策や政策に活かすことを目指しています。お一人でも多くの皆様にご回答をお願いできますと幸いです。

※調査結果(速報値)は、5月中を目途に、CedepのWEBページ(<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>)に掲載します。

【調査実施者】東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）

【調査責任者・担当者】野澤祥子 同センター准教授

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 E-mail: nozawa[@]p.u-tokyo.ac.jp

【調査目的】

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）に伴う社会の変化が、保育・幼児教育施設にどのような影響を与えているのかについて、学術的に把握・検討することを目的としています。

【対象者】保育・幼児教育施設の園長・施設長 及び 職員の方々

※すべての役職を対象としています

※開園している場合、休園している場合のいずれでも回答いただけます。

【調査回答用 URL】

<https://forms.gle/3rfntjpxZE94tIQv9>

※上記調査回答用 URL にアクセスして、5月12日（火）までに回答してください。

※開園している場合、休園している場合、いずれの場合でもお答えいただけます。

※保育・幼児教育に携わる方々に本調査のことを知らせたり、SNS 等で発信したりしていただくことを歓迎いたします。

※以下の内容は、調査回答用 URL にアクセスしていただくと、最初のページでも見られます。

【調査の概要】

調査は、以下のパートから構成されています。

- I 貴園の基礎情報について
- II 新型コロナに関わる貴園の状況について
- III 新型コロナ予防対策について
- IV 職員のストレス状況について
- V 家庭への対応について
- VI 自治体・国の対応について
- VII その他

【調査実施期間】

2020年4月30日（木）～5月12日（火） ※5月12日（火）までにご回答ください。

【回答の任意性】

この研究にご協力いただくかどうかは任意であり、自由意思に委ねられています。

途中で回答をやめることができます。

研究にご協力いただけないことで不利益に繋がることは一切ありません。

【個人情報の保護と情報の取り扱い】

- ・この調査では、お名前や園名の記入は求めません。
- ・データは統計的に処理します。
- ・自由記述に関してもご記入いただいた内容から園名や個人名が特定できないように慎重に処理します。
- ・調査結果は、Cedep ウェブサイトに掲載します。
- ・その他、学会発表や学術雑誌等で発表します。
- ・データは、Cedep において、この研究成果の発表後、厳重な管理の下に少なくとも 10 年間保存いたします。

【その他】

本調査は、東京大学の倫理規定に則って実施するものです。

ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

<本調査専用お問い合わせフォーム>

<https://forms.gle/5Mymxx7NL1jd7AyP8>